

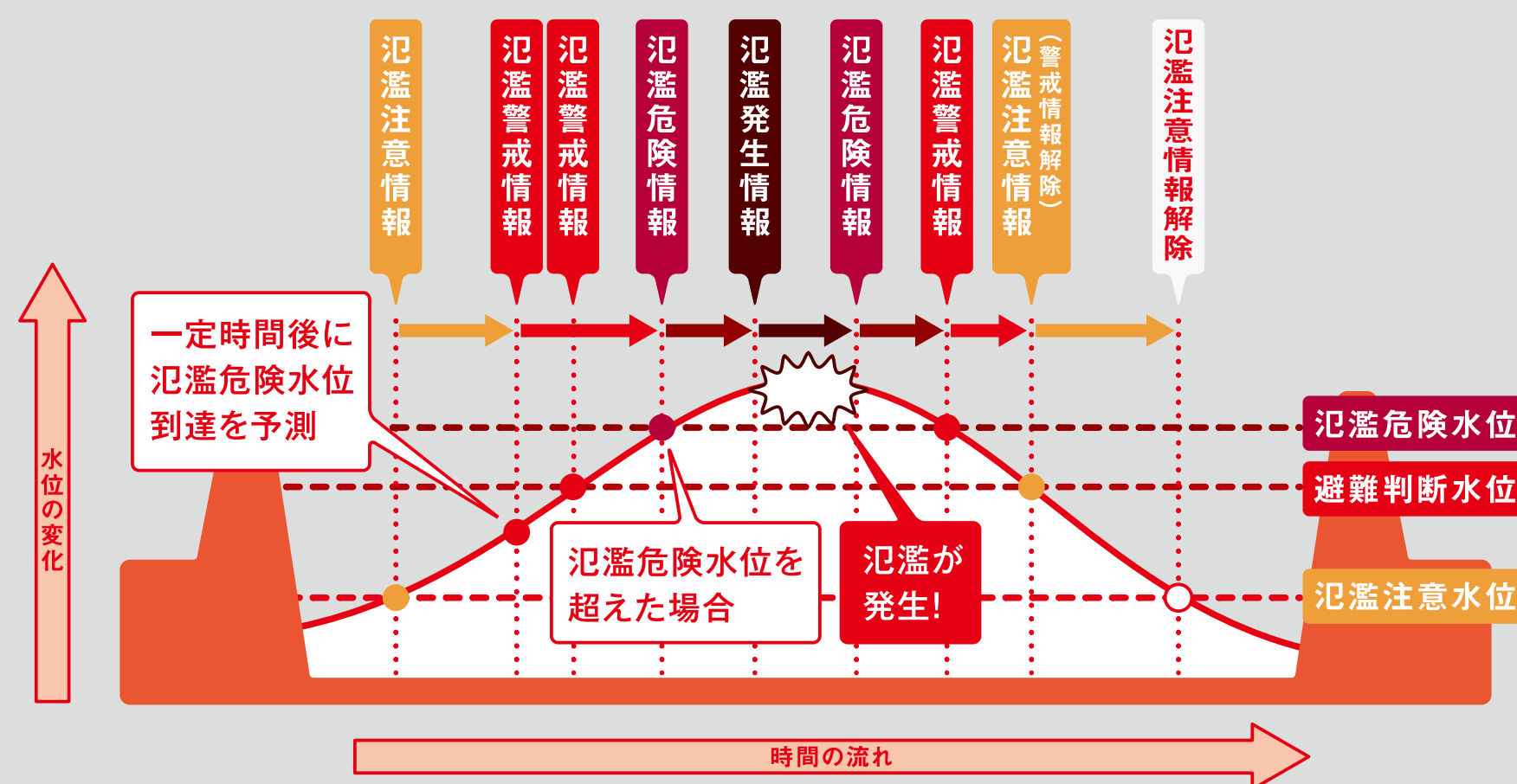
河川水位と避難のタイミング

The Time to Evacuate and River Water Level



降雨のピークと河川の水位上昇には時間差があり、避難の必要性の判断を誤って河川の氾濫の犠牲となることがある。令和元年東日本台風（台風第19号）では、広い範囲で降った雨が時間をかけて河川に集まり、雨が弱まった後に氾濫した河川もあった。避難先から自宅に戻り犠牲になった人も多く、目の前の状況だけで判断せず、情報を入手して慎重に行動することが重要。

指定河川洪水予報



河川の水位	市町村・住民に求める行動の段階
氾濫が発生!!!	氾濫水への警戒を求める段階。 遅くとも、この段階では避難指示（緊急）が発令される。
氾濫危険水位	いつ氾濫してもおかしくない状態。避難などの氾濫発生に対する対応を求める段階。通常、避難勧告が発令される。さらに水位が上昇し、危険度が増した場合には、避難指示（緊急）が発令される。
避難判断水位	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階。 通常、避難準備・高齢者等避難開始が発令される。
氾濫注意水位	氾濫の発生に対する注意を求める段階

住んでいる地域で雨が降っていなくても、近隣の川の上流で大雨になっていると、やがてその水が流れてきて洪水・氾濫の危険性が高くなる。

参考にする情報	● 洪水注意報	● 指定河川洪水予報
	● 洪水警報	あらかじめ指定された大きな河川が対象
	河川の洪水・氾濫による災害に対する注意報・警報	・氾濫注意情報 ・氾濫警戒情報 ・氾濫危険情報 ・氾濫発生情報